

県南地区（小山市・野木町・下野市・上三川町）の住民の皆様へ

～感染拡大期に新型コロナウイルス感染症に正しく対処するために～

令和2年3月6日

小山地区医師会会長

感染症担当理事

新型コロナウイルス感染症は未知のウイルス感染症で、これまでに経験したことのない感染様式や拡がりをみせております。またワクチンや確立した治療法も無いことから不安な日々を過ごされていると思います。

すでに国内発生期から国内拡大期へ移行しつつあり、感染者の増加に伴い、政府・医療機関の対応も刻一刻変化していきます。国内発生早期は感染拡大の封じ込めを主眼とした対応をとりましたが、今後、国内の感染拡大が進行した場合には重症者への対応が主眼となります。

現在の新型コロナウイルス感染の対応の窓口は『帰国者・接触者相談センター』のある県南健康福祉センターですが、国内拡大期になると県南健康福祉センターの現状ではすべての疑いのある方に対応することは困難であり、かかりつけ医や地域の内科系診療所が対応の中心に移行してまいります。

この地域で感染者が増える感染拡大期に住民の皆様適切に対処していただくためにも小山地区医師会の方針を正しく理解していただきたいと考えます。

新型コロナウイルスに感染したかもしれないと不安になった場合は、

◎ 持病（基礎疾患）のある方

まず、かかりつけ医（ご自身のホームドクター）に電話で相談してください

◎ かかりつけ医をお持ちでない方

近所の内科系診療所に電話で相談してください

◎ 一度、診察を受けても良くならない場合は、他の医療機関を受診するのではなく、診察を受けた医療機関にまず電話で相談してください

医療機関（かかりつけ医等）での対応は、

入院が必要な肺炎の疑いがあるかを診察で判断します

- ◎ 診察の結果、入院が必要な肺炎の疑いが無ければ、必要に応じて適切な外来治療を行います。
- ◎ 診察の結果、入院が必要な肺炎の疑いがあれば、入院施設のある近隣の病院へ紹介します。

新型コロナウイルス感染が疑われた場合には、県南健康福祉センターへ相談するか、指定された病院で独自に PCR 検査を行います。

これらの方針を守ることが、感染者が増加した場合の県南地区の医療体制に大きな混乱を招かないために重要です。

ただし、県南地区の病院のベッド数にも限りがありますし、受け入れる病院の対応する能力にも限界があります。感染していても軽症の方は自宅で安静に療養していただくことが必要になってくるかもしれません。

住民の皆さんのご理解とご協力をいただき、皆さんと共に一丸となり新型コロナウイルス感染症を乗り越えてまいりたいと考えます。